



S-mile 通信

変えられないのは
他人と過去

変えられるのは
自分と未来

令和6年10月15日発行 第80号

発行/理事長室 浜松市中央区大山町 2958 番地の 1

創立 30 周年記念祝賀会のご案内

当日は、法人創業時の想いを胸に共に新しい介護保育の在り方を考え、慶成会の未来へ向かう新たなスタートの日にしたいと思います。

祝賀会の進行はプロの方に依頼し、外部から講演者を招く予定です。今まで知らなかった慶成会の歴史に触れながら皆で今後の方向性を確認し、大きな希望を持つことができる祝賀会にしたいと思います。

二度とない機会です。職員の皆様は奮ってご参加下さい。

既にフォーラムでご案内していますが、来る 11 月 11 日（月）の夕方、「慶成会創立 30 周年記念祝賀会」をホテルコンコルド浜松で開催します。慶成会は 30 年の間に多くの介護・保育事業所が増設され、現在は約 270 名の職員が働く大きな福祉村となりました。



社会福祉法人慶成会 創立20周年記念



20周年記念祝賀会（記念誌）より

申し込みは⇒ Lドライブ — 140.慶成会 30 周年式典出欠 — 30 周年記念出欠表名簿

R6 年度 上半期苦情解決委員会

9 月 17 日（火）R6 年度上半期の苦情解決委員会を開催しました。今回は 11 名の苦情解決責任者が参加され、各部署から提出いただいた苦情報告書の内容について共有しました。

●日頃から「笑顔」を意識することが大切です。日頃、目の前の仕事にとらわれ忙しいとは思いますが、「笑顔」を意識すると言動や振る舞いも明るく見えます。その雰囲気は相手にも伝わり、コミュニケーションが円滑にいくことに繋がります。

●苦情の案件によっては、自施設だけでは解決が難しいケースもあります。その場合、行政や地域包括、他福祉施設、法律の専門家や民生委員など各専門分野の方に声をかけ、行政主導で地域ケア会議の開催を促し連携することが求められます。

●支援は対象者本人だけではなく、本人と関わる家族への環境整備も念頭に置き、両者の支援を進めていくという視点をもつことが大切です。

●たとえば思い悩むような苦情案件に遭遇しても、客観的に捉えると同時に、感情のコントロールを行えば焦らずに対処できることもあります。

当日は 7 つの苦情ケースについて発表があり、それぞれの対応内容や考え方について、第三者委員の斯波様、榛葉様から様々なご意見をいただきました。



学生アルバイト

7 月より、花みずきにおいて聖隷クリストファー大学理学療法学科 2 年生の学生さん 2 名がアルバイトで勤務しています。慶成会において、大学生に仕事ををお願いするのは今回が初めてです。

お二人はそれぞれ葵館と泉館で週 1 回ほど日勤の業務に入り、入居者の見守りや身の回りのお世話をしています。今までお年寄りと触れ合う機会はあまりなかったそうですが、今回、学校で学んだ「認知症」について改めて理解することができました。入居者の皆さんは昔話を繰り返したり、聞いたことをすぐ忘れてしまったりとその様子に度々驚きますが、一方で認知症があっても穏やかに過ごす方も見え、どのような対応が良いのか考え学びながら楽しくお仕事ができています。

就職後はリハビリを通して人を支えたいという目標があるそうですが、今回のアルバイト体験は将来仕事をする上で役に立つ時が来るかもしれません。

大学生活は残り 2 年ですが、この先も様々な経験をしながら介護の魅力を感じていただければ嬉しいです。

引き続き、仕事と勉強頑張ってください。応援しています。



坪井清楓（さやか）さん



岡本夏鈴（かりん）さん

中国から見学に見えました

9月18日(水)グランツ薬局を経営する水野様の紹介で、日本の介護事業に興味を持つ中国の方3名の法人見学がありました。

冒頭理事長より、設立時の想いや慶成会の歴史をお伝えした後、小澤部長から現在実施中の様々な取り組みについて報告がありました。3名の内お一人は日本の大学で教壇に立ち、流暢な日本語で仲間に通訳をしながら話の内容を伝えていました。

中国では日本のような介護保険システムはなく、高齢で身の回りのことが難しくなると、医療保険や年金を当てて家族に頼る方法が一般的なようです。施設よりも在宅介護を希望するお年寄りが多く、高齢になった親は当たり前子供が世話をするという考え方は、半世紀前の日本の状況によく似ています。



中国では一人っ子政策の影響から、今後は急カーブで高齢化が進み、特に在宅介護サービスのニーズが高まることが予測されています。今回見学された方は、いずれご自身で介護事業を起こそうと施設を学ぶ目的で来日し、見学を希望されたようです。

今回のご縁をきっかけにお互い交流を深め、将来の介護事業の推進に力を注いでいけたら良いですね。



先にフォーラムでもお伝えしていますが、11月まで行政機関や多くの団体様が法人内の見学を予定しています。お見かけした際は、皆様から気持ちの良い挨拶と笑顔でのご対応をお願いします。

10月25日(金) 豊田市社会福祉協議会
10月28日(月) ハローワーク

10月26日(土) 和地民生委員 15名
11月20日(水) 認知症家族研究会

社食サービスのご利用状況

9月からグリーンヒルズ東山職員食堂において、外部会社が運営管理する社食サービスシステムを導入しています。

利用状況については、ひと月で130食以上の販売があり当初の予想をはるかに上回っています。商品はほぼ冷凍食品であり、アイスやスイーツ

類の売れ行きが多く、ご飯や麺類、お惣菜などの商品購入も多いようです。1回の補充に8割以上の商品を用意しないとすぐ冷凍庫が空になってしまいそうです。

電子レンジやお皿、箸なども用意されているため、昼食時、またちょっとお腹がすいたときにワンコイン(100円と200円の二種類)で商品を購入、その場ですぐ温めて食べることができるのは大きな魅力です。

まだ冷凍庫に用意していないメニューもあり、商品の一覧表もありますのでどんどんリクエスト下さい。引き続き多くの皆様に利用いただき、どんどん選択メニューが増えると嬉しいです。

24時間いつでも利用できます。まだ購入されていない方は、一度召し上がってみて下さい。



食堂入口にある冷凍庫



メニュー表

自由にお選び下さい



商品は100円か200円



レトルトご飯とみそ汁



お金はこちらへ!

ヴァイオリンの響き ~ 梶山久美さん

10月2日(水)グリーンヒルズ東山にヴァイオリン奏者の梶山久美さんが見えました。訪問のきっかけは、梶山さんの友人の母親がグリーンヒルズ東山へ入居されており、日頃娘さんが母親へヴァイオリンの生演奏を聴かせてあげたいとの気持ちが

ありました。そのことを梶山さんが知り、少しでも友人の力になり想いを叶えてあげたい、友人の母親に寄り添ってあげたいという気持ちから2階フロアで演奏会を開いてくれました。



梶山さんは海外でも活躍され、何枚かアルバム作品をリリースされているとても有名なヴァイオリニストです。日頃は大ホールでしかお目にかかれない演奏を贅沢にも間近で見ることができ、入居者及び多くの職員がプロフェッショナルな演奏に酔いしれていました。

演奏は短時間でしたが、アンコールを含め9曲を演奏していただきました。入居者の皆さんはクラシックなヴァイオリンの音色にうっとりする一方、懐かしの日本のメロディが流れると、涙

を流し口ずさむ姿も見られました。

終始美しいヴァイオリンのしらべに皆さん大感激でした。

梶山さん、貴重な時間を施設のために生演奏していただき、本当にありがとうございました。

